

茨城県防災航空隊と常総広域消防本部が合同訓練を実施

令和4年12月12・15日、市総合運動公園多目的広場で、茨城県防災航空隊と常総広域消防本部の合同連携訓練が行われました。本市からは、小田川市長を始め、防災関係職員や市消防団幹部が参加しました。訓練では、防災ヘリとの無線交信や空中消火訓練、ドクターヘリの補完運航として防災ヘリを使用する場合の手順の確認を行いました。訓練に先立ち、常総地方広域市町村圏事務組合の副管理者である小田川市長からは「災害時、防災ヘリは、一刻も早く被災者を救助するため、大変貴重で頼もしい存在である」と挨拶がありました。



図 伊奈庁舎防災課（内線 2506）

SMC(株)から災害用備品を寄贈いただきました

令和4年12月21日、SMC(株)から災害用備品として、リチウムイオンバッテリーおよびソーラーパネルを2セット寄贈いただきました。これは、本市に事業所を構える同社が、持続可能な社会の実現に向けたSDGs事業の一環である地域社会貢献活動として、昨年度に引き続き、行われているものです。寄贈いただいたリチウムイオンバッテリーなどは、災害時の非常用電源として活用いたします。



▲左からSMC(株)筑波技術センター 土居取締役執行役員技術本部長、小田川市長

図 伊奈庁舎防災課（内線 2502）

令和5年つくばみらい市消防出初式を実施しました

地域防災の要である市消防関係者による「消防出初式」を1月8日、きらくやまふれあいの丘で実施しました。この日は、市内の消防団と消防関係者合わせて約300人が参加し、防火・防災の決意を新たに、小田川市長、浅野消防団長の前を堂々と分列行進を行いました。その後、多年にわたり消防活動に尽力された方などに表彰状や感謝状が贈呈されました。式の最後には、消防団による迫力ある一斉放水が披露され、今年1年の無事と安全が祈願されました。



図 伊奈庁舎防災課（内線 2506）

教育委員会事務の点検および評価意見聴取会を実施しました

教育委員会では、毎年2人の事務点検評価委員から対象事業の事務点検評価結果についてご意見をいただいております。令和4年度は、事務点検評価委員が選定した事業（学校総務課1事業、教育指導課4事業、生涯学習課5事業の計10事業）についてご意見をいただきました。報告書は議会への提出および報告も行っており、次年度以降の事業に反映させ、より良い教育行政の充実を図ってまいります。詳細は市ホームページをご覧ください。



図 教育委員会庁舎学校総務課（内線 7104）

ドクターヘリの運航にご協力をお願いします

119番通報を受けた消防機関が、通報内容から傷病者の重症度などを判断してドクターヘリを要請しています。また、現場に出動した救急隊も傷病者の状態によって要請しています。救急医療は時間との闘いです。

ドクターヘリが離着陸できる場合離着陸場（ランデブーポイント）には、消防隊も出場し安全管理を行っていますが、次のことに注意してください。

○大きな音や強い吹き下ろし風が、発生し物が飛んだり砂が舞ったりします。

○近くにいることは危険ですので、消防職員などの指示に従って退避して下さい。

○着陸後は救急車で治療を行いますので、近寄らないでください。

運航は日の出から日没、または午前8時30分から午後5時30分までの間で飛行可能な時間となっています。

一刻も早い治療を必要としていることをご理解いただき、安全運航の



ために、皆さまのご理解 市内ランデブーとご協力をお願いします。ポイントはこちら

図 つくばみらい消防署 ☎0297-58-0111

イネ縞葉枯病を防ぎましょう

イネ縞葉枯病は、ヒメトビウンカという害虫によりウイルスが水田のほ場に広がり、水稻の生育が妨げられる病気で、被害を受けると、次期作の減収につながります。薬剤で防除することはできず、被害を防ぐためには、越冬場所となる再生稲（ひこばえ）の耕起や、畦畔、土手に生えるイネ科雑草を除草することが効果的です。

冬場の対策で「ヒメトビウンカのエサとすみか」をなくしましょう。

図 谷和原庁舎産業経済課（内線 3103）

お知らせ

募集

手続き・申請

相談

イベント